

ジョナサン・スウィフト

### 3 新・秀作バラッド

#### —強姦<sup>レイプ</sup>罪で絞首刑になるべき正真正銘のイングランド司祭—

##### I.

われらを大事にしてくれるイングランド国教会信者の皆さん  
すべてにおいて親切な皆さんが  
(ああ ありがたや) 正真正銘のイングランドの首席司祭を  
今年 我々の教会のためにと送ってくださった  
縮緬<sup>クレープ</sup>に身を包んだ中では最高の司祭様  
始末の悪いことに 犯した罪は強姦<sup>レイプ</sup>だった

5

##### II.

司祭はダブリンへの旅の途中 チェスターに立ち寄り  
そこで人妻を気に入って  
部屋へと押し入り 女を抱くつもりであった  
だが女は命よりも貞節が大事と  
暴れまくり 抵抗しまくり  
客人が集まる部屋へ 強姦<sup>レイプ</sup>はいやと逃げ込んだ

10

##### III.

司祭は 獲物を取り戻そう  
初志貫徹 彼女を襲おうと追いかけた  
しかし客人たちが女をかばって立ちはだかり  
司祭を袋叩きにして 階下へ蹴り落とした  
司祭としての威厳は地に落ち  
強姦<sup>レイプ</sup>どころではなくなった

15

##### IV.

司祭はダブリンにやってくると 売春宿へ行き  
宿主<sup>あるじ</sup>に誰か女を連れてくるよう命じる  
自分のガウンを見せるのにためらいなどなかった  
というのもそれが習慣だったから  
司祭はブドウ酒で酔っ払い  
見事淋病<sup>クラップ</sup>に感染するも 強姦<sup>こと</sup>には至れず

20

##### V.

司祭と 仲の良い陽気な<sup>あるじ</sup>宿主は 25  
2週間快樂の海を泳ぐと決めた  
どういうわけか 二人とも  
一日中飲み明かし 夜通し女遊びに<sup>うつつ</sup>現を抜かず<sup>たち</sup>性質  
<sup>あるじ</sup>宿主はあらゆる悪遊びで司祭に付きあうが  
<sup>レイブ</sup>強姦だけはやめといた 30

VI.

この熱狂的新教徒 この神聖なるイングランドの司祭  
信仰と国家の問題に関しては穩健派  
ハノーバー王朝に対してはスティールよりも忠実だが  
内心トーリー派が台頭すべきと嘆いていた  
これほど忠実な者が首を吊られるべきなのか 35  
<sup>レイブ</sup>強姦以外は罪を犯していないのに

VII.

賢者が記したとおり 古きローマカトリックのカノンでは  
教会の法により聖職者には内縁の妻がいた  
聖職禄一時保有を持たずに誰がファルネの司祭になると言うのか  
もし許されるならわれらは前例を作れよう 40  
売春婦がそんなにも安いのに なにゆえ司祭が  
危険と苦勞を物ともせず わざわざ<sup>レイブ</sup>強姦なんぞするものか

VIII.

もしも運命が気まぐれに  
(スドレーの後継者に君を任命する)  
君に聖職衣 司教冠 白衣を授けたら 45  
君は誰に似るだろう? 当ててごらん  
私にはアサートン氏の姿に見えよう  
ちょうど君が<sup>レイブ</sup>強姦でそうなったように 男色で死刑になった男

IX.

君は立派なチャーターズ大佐をうらやましく思わぬか  
70歳で君と同じ罪をとがめられたのだ 50  
その首を吊るすためならイングランド中がガーターを差し出すだろう  
しかし彼は生きている 再び<sup>レイブ</sup>強姦を犯し  
君を1メートルの強い紐で絞め殺そうとしている  
君が<sup>レイブ</sup>強姦の罪を贖う1銭すら持たぬから

X.

くだんの司祭は進んで身を任せる売春婦など願ひ下げ 55

もがき叫ぶ女を探しだし  
司祭はびた一文払わずに 女をたっぷり堪能した  
だがこれでは後のたたりが待っている  
司祭の罪は積もり積もって山となり  
強姦罪<sup>レイプ</sup>で絞首刑となるのだ 60

XI.

犯<sup>や</sup>られたのが素人女なら それは自ら求めたも同然  
どうしてわざわざ男に抵抗するのか  
もし女たちがただ静かに横になって 声を潜めるなら  
悪魔も司祭も強姦<sup>レイプ</sup>などしないだろうに  
頑丈な麻のロープを 65  
強姦罪<sup>レイプ</sup>で司祭の首に巻きつける必要もなかりょうに

XII.

われらが教会 われらが国家をイングランドは大事に思って下さる  
そのことを真<sup>まこと</sup>の新教徒は喜ぶべきだ  
イングランドはわれらに司教 判事 司祭を送ってよこそが  
もしより良い者がいるのなら もっと良い者を与えてくれよう 70  
だが 野次馬たちも目をむいて開いた口がふさがらなかりょう  
イングランドの司祭が強姦罪<sup>レイプ</sup>で絞首刑になるなどとは

(三木菜緒美訳)